



第11回通常総会を開催

令和4年5月19日、群馬県計量検定所2階会議室において、群馬県産業経済部大久保部長代理として上山産業政策課長様を来賓としてお迎えし、正会員229名のうち、出席者20名（理事15名、監事2名、会員3名）委任状151名の提出を得て開催し、以下の各議案は原案のとおり承認・可決されました。



- | | |
|-------|-----------------------|
| 第1号議案 | 令和3年度事業報告について |
| 第2号議案 | 令和3年度収支決算報告及び監査報告について |
| 第3号議案 | 令和4年度事業計画(案)について |
| 第4号議案 | 令和4年度収支予算(案)について |
| 第5号議案 | 顧問及び参与の選任及び解任について |
| 第6号議案 | 就業規則の一部改正について |
- 報告事項

1. 各部会及びその他関係団体の役員について
2. 創立100周年記念事業の精算について
3. 特定市の指定定期検査機関指定の更新について
4. 事務局体制の整備について
5. 令和3年度の会員入退会者について

■令和3年度主要事業の概要

- ・創立100周年事業記念式典の開催
令和3年11月12日、群馬会館において山本知事をお迎えし、盛大に式典を開催
- ・創立100周年記念誌を発刊
群馬県計量協会の前身である日本度量衡協会群馬県支部創立から100年のあゆみを発刊
- ・指定定期検査業務受託（群馬県・前橋市・伊勢崎市・太田市）
期間 R3.4.1～R4.3.31
内容 6市4郡(特定市を含む)のはかりの定期検査を実施
- ・日本郵政グループ計量管理業務受託
期間 R3.4.1～R4.3.31
内容 10市4郡の179の郵便局等の窓口用、集配用はかり242個、分銅校正4を実施
- ・中小企業向け測定基礎研修会の開催
(一社)埼玉県計量協会栗原計量士を講師として迎え、令和3年11月25日、群馬県計量検定所2階会議室において、9名の参加者を得て実施
- ・計量思想の普及啓発事業の実施
計量日ポスターの配布、計量標語ポスターの作成配布、群馬県計量検定所事業「はかりの工作教室」及び各市町村で開催する消費生活展や産業際への計量啓発グッズの提供他



■令和4年度事業に向けての事業活動方針

当協会は、2021年に群馬県計量協会創立から50周年、その前身である日本度量衡協会群馬県支部創立から100周年という大きな節目を経て、今後も引き続き期待される計量団体として計量行政の一翼を担い、計量行政のDX化の推進等にも適合しながら、経済や国民生活の基盤としての計量制度を支え、社会的役割を適切に果たしていく所存です。

令和3年度決算と令和4年度予算

(単位:円)

勘定科目	令和3年度決算書			令和4年度予算書	
	予算額	決算額	差異	予算額	増減
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 会費収入	3,900,000	3,888,000	12,000	3,830,000	△ 70,000
(2) 事業収入	46,427,000	48,242,982	△ 1,815,982	※2 49,340,000	2,913,000
(3) 負担金収入	150,000	21,000	129,000	100,000	△ 50,000
(4) 雑収入	62,000	257,146	△ 195,146	62,000	0
収入計	50,539,000	52,409,128	△ 1,870,128	53,332,000	2,793,000
2. 事業活動支出					
(1) 事業費支出	47,919,000	48,591,853	△ 672,853	50,898,000	2,979,000
給料手当支出	20,566,000	20,665,789	△ 99,789	22,184,000	1,618,000
報酬支出	4,182,000	4,219,800	△ 37,800	4,750,000	568,000
証紙仕入費支出	10,153,500	10,890,126	△ 736,626	10,153,500	0
その他	13,017,500	12,816,138	201,362	13,810,500	793,000
(2) 管理費支出	5,220,000	5,181,641	38,359	3,384,000	△ 1,836,000
給料手当支出	639,000	487,669	151,331	615,000	△ 24,000
会議費支出	150,000	80,000	70,000	20,000	△ 130,000
旅費交通費支出	100,000	67,930	32,070	100,000	0
負担金支出	600,000	363,000	237,000	600,000	0
周年事業費支出	2,000,000	2,459,796	※1 △ 454,796	0	△ 2,000,000
一般計量教習受講費	1,000,000	1,159,600	△ 159,600	※3 1,200,000	200,000
その他	731,000	568,646	2,754	849,000	118,000
支出計	53,139,000	53,773,494	△ 634,494	54,282,000	1,143,000
収支差額	△ 2,600,000	△ 1,364,366	△ 1,235,634	△ 950,000	1,650,000
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入	0	0	0	1,000,000	1,000,000
積立預金取崩収入	0	0	0	1,000,000	1,000,000
2. 投資活動支出	50,000	50,000	0	50,000	0
関ブロ定期積立支出	50,000	50,000	0	50,000	0
計量士育成積立支出	0	2,000,000	△ 2,000,000	0	0
投資活動収支差額	△ 50,000	△ 50,000	0	950,000	1,000,000
III 予備費支出					
当期収支差額	△ 2,650,000	△ 1,414,366	△ 1,235,634	0	2,650,000
前期繰越収支差額	9,836,924	9,836,924	0	8,422,558	△ 1,414,366
次期繰越収支差額	7,186,924	8,422,558	△ 1,235,634	8,422,558	1,235,634

(注釈)

※1 創立100周年事業費の決算額であり、詳細は7ページに記載しました。

※2 はかりの定期検査受託費用は、受検者の多い年に当たるため昨年に比べて増収で見込んでいます。

※3 若年計量士育成のため4月に1名採用し、一般計量士認定資格取得のための研修費を計上したものです。

令和4年度関東甲信越地区計量団体連絡協議会の開催

関東甲信越地区計量団体連絡協議会は、令和元年10月24日・25日、本県が当番県となって伊香保温泉で開催しましたが、その年の暮れから新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大したことから開催ができない状況にありました。

しかし、その後新型コロナウイルス感染防止対策が講じられるとともに、ワクチン接種推進の効果もあり、新規感染者数は低く抑えられてきている状況にあります。

そうしたことを背景に、令和4年度については、3年ぶりに一般社団法人埼玉県計量協会が当番県となって、10月28日、さいたま市において当該連絡協議会を開催する予定です。



新任の挨拶

群馬県計量検定所
所長 長谷川 裕之

本年4月に群馬県計量検定所長に就任いたしました長谷川でございます。

本県計量行政の推進につきましては、日頃から、横田会長をはじめ会員の皆様の特段の御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

群馬県職員に任用されてから今回の異動で初めて計量行政に携わることとなり、今も分からないことが少なからずありますが、日々研鑽に努めて参りますので、今後とも御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

顧みると、適正な計量の実施が経済活動や国民生活に深く関わっていることを特段意識することなく今日まで過ごしてきましたが、当職に就き、計量の重要性を改めて認識するとともに、現在の計量制度がこれに携わる多くの方々の長年にわたる御尽力の賜であることを学びました。関係各位に心から敬意を表する次第です。

さて、新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認されてから2年半が経過しようとしています。この間、緊急事態宣言の発出、まん延防止等重点措置の適用など厳しい環境に見舞われてきましたが、官民を挙げての感染防止対策やワクチン接種の推進等により、最近は感染の波が小さくなり、身の回りから日常を取り戻しつつあります。こうした状況を踏まえ、政府や各自治体は、基本的な感染防止対策を継続しながらも、行動制限の大幅な緩和、訪日観光客の受入再開など、経済活性化の方向に軸足を移しはじめています。景気の先行きは、原油高や原材料費の高騰、円安、ウクライナ情勢などの懸念材料を抱え予断を許しませんが、感染状況の落ち着きを機に社会経済活動が一段と加速する動きは、計量業界のみならず、産業界全体に追い風になるものと期待しています。

当検定所におきましても、昨年度は新型コロナの影響により縮小や延期を余儀なくされた業務を、今年度は計画どおり実施すべく調整を進めているところです。

当検定所といたしましては、県民や事業者の皆様が安心して日々の暮らしや仕事に向き合うことができるよう、貴協会をはじめ関係機関との一層の連携・協力のもと、計量制度の適切な運用、計量思想の一層の普及啓発に職員一丸となって取り組んで参ります。貴協会の皆様におかれましても、これまでも増してお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人群馬県計量協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

環境分科会 第47回通常総会を開催

環境分科会では、コロナの感染状況が高止まりをしている状況に鑑み、書面によるみなし表決を令和4年5月27日(金)に行い、下記の各議案は原案のとおり承認・可決されました。

第1号議案 令和3年度事業報告及び
収支決算報告について

第2号議案 令和4年度事業計画(案)
及び収支予算(案)について

第3号議案

- 1 令和4年度委員会構成員について
- 2 令和3年度委員会活動報告及び
令和4年度委員会活動計画について
 - (1) 総務企画委員会
 - (2) 浄化槽委員会
 - (3) 技術委員会
 - (4) 放射線委員会

その他 1. 年度始めのあいさつ回りについて
2. その他

リニューアルしたホームページトップ画面



www.gunmakeiryu.or.jp/bunkakai/index.html

令和3年度事業の概要

(1) 委員会活動

- ① 総務企画委員会 計4回開催
- ② 浄化槽委員会 計6回開催
- ③ 技術委員会 計7回開催

テーマ：「ナトリウムイオン(Na+)濃度測定における原子吸光光度計(AAS)とイオンクロマトグラフ法(IC)とICP発光分光法(ICP)の比較評価を行う共同実験」を報告書として取り纏めました。

- ④ 放射線委員会 計4回開催(執行部会議4回)

(2) 環境白書研修会 R 3. 11. 24 県庁2階「ビジターセンター」参加者28名

(3) 新任技術者研修会(日環協関東支部共催)

R 4. 2. 22 リモート開催 受講者29名(うち茨城県から7名参加)

(4) 群馬県との意見交換会

① 環境森林部 R 3. 11. 24 県庁295会議室(4議題) 県6名、協会11名

② 県土整備部 R 3. 10. 28 県庁292会議室(5議題) 県7名、協会11名

(5) 計量法に係る研修会

R 4. 2. 17 リモート開催 受講者21名

(6) 群馬県下水道総合事務所との災害緊急訓練

R 4. 2. 24 机上訓練実施(9:30~11:00)

(7) その他

ホームページをリニューアルし、令和4年2月17日から運用を開始しました。今後は、分科会での活動を幅広く掲載していく予定です。

ぜひ、閲覧いただき、ご活用いただければ幸いです。

令和3年度決算と令和4年度予算

(単位:円)

勘定科目	令和3年度決算書			令和4年度予算書	
	予算額	決算額	差異	予算額	増減
1 収入の部					
会費	1,460,000	1,040,000	420,000	1,240,000	△ 220,000
分科会費	1,040,000	1,040,000	0	1,040,000	0
特別会費	420,000	0	420,000	※2 200,000	△ 220,000
雑収入	30,000	30,669	△ 669	10,000	△ 20,000
雑収入	30,000	30,669	△ 669	10,000	△ 20,000
分担金	50,000	50,000	0	50,000	0
当期収入合計(A)	1,540,000	1,120,669	419,331	1,300,000	△ 240,000
前期繰越収支差額	1,922,106	1,922,106	0	2,196,460	274,354
収入計	3,462,106	3,042,775	419,331	3,496,460	34,354
2 支出の部					
本部事務負担金	150,000	150,000	0	150,000	0
事業費	1,690,000	271,437	1,418,563	1,970,000	280,000
委員会費	400,000	67,514	332,486	400,000	0
研究発表	100,000	94,285	5,715	100,000	0
環境展協賛費	50,000	0	50,000	50,000	0
研修見学会	700,000	0	700,000	700,000	0
技術研修会費	120,000	107,360	12,640	※3 300,000	180,000
日環協関連事業	100,000	0	100,000	100,000	0
北関東連絡協議会	100,000	0	100,000	100,000	0
意見交換会	120,000	2,278	117,722	120,000	0
講演会費	0	0	0	※3 100,000	100,000
会議費	380,000	13,590	366,410	700,000	320,000
総会費	0	0	0	300,000	300,000
役員会費	100,000	13,590	86,410	100,000	0
新年互礼会	280,000	0	280,000	300,000	20,000
雑費	100,000	27,388	72,612	100,000	0
セミナー協賛広告費	50,000	0	50,000	50,000	0
ホームページ更新費	450,000	383,900	66,100	0	△ 450,000
I C T推進費	0	0	0	※3 100,000	100,000
予備費	42,106	0	42,106	50,000	7,894
当期支出合計(B)	2,862,106	846,315	2,015,791	3,120,000	257,894
当期収支差額(C)	△ 1,322,106	274,354	△ 1,596,460	△ 1,820,000	497,894
次期繰越収支差額	600,000	※1 2,196,460	△ 1,596,460	376,460	223,540

(注釈)

- ※1 コロナ禍で懇親会や見学会ができなかったことにより昨年度以上の繰越額となりました。
- ※2 繰越額が多いので懇親会等の負担金5000円のところを2000円とし、差額を還付することとします。
- ※3 繰越額が多いので新規事業を起こし、予算を割り振りました。

令和4年度 委員会活動の事業内容

委員会名	事業内容
総務企画委員会	新規事業(研修用eラーニング動画作成、コンプライアンス違反防止のための講演会開催、セキュリティ対策・Web配信会議等ICT推進)
浄化槽委員会	精度管理・BOD測定(年2回)、県・関係団体との連携 群馬県環境検査事業団と情報交換、効率化11条検査の実施率向上
技術委員会	テーマ「水質汚濁に係る環境基準の見直しによる六価クロムの定量下限値の確認」に関する共同実験
放射線委員会	土壌試験(①土壌調査データの積み上げ ②サンプルのクロスチェック ③放射能濃度測定 ④市民、NPO団体等へのサンプリング協力要請)ほか

指定定期検査機関としての受託業務（令和3年度実績と令和4年度計画）

商店や薬局・工場などで取引・証明に使用されるはかりは、適正な計量の実施を確保するために、計量法により2年1回の定期検査が義務づけられています。

当協会は、「指定定期検査機関」として、平成15年から県の指定、平成19年から伊勢崎市・太田市、平成31年度（令和元年度）から前橋市の指定を受け、はかりの定期検査業務を実施しております。

今年度の検査におきましては、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減傾向にありますが、引き続き下記の感染防止対策を講じて、受検者の安全・安心を図りながら的確に実施してまいります。

1 検査員等の対応

- ① 毎朝の検温 毎朝検温をし、37.5℃以上のある者は出勤を控え、業務に従事しない。
- ② 消毒・手洗い こまめに消毒・手洗い・うがいを励行する。
- ③ マスク着用 検査員、補助員、受付及び手伝い等は必ずマスクを着用する。

2 受検者への対応

- ① 受検者には検温を実施し、37.5℃以上ある方には、出直していただく。
- ② 受付にはアクリル板を用意し、飛沫の防止を図る。
- ③ 受付の際、受検時間を記録し、万が一感染が発生した時の濃厚接触者の特定に生かす。

3 検査会場の対応

- 3密を回避、アルコール消毒液配置、除菌の徹底



令和3年度 はかりの定期検査の実施結果

区分	群馬県		前橋市		伊勢崎市		太田市		計	
検査戸数	916		300		109		161		1,486	
種類	検査個数	不合格個数	検査個数	不合格個数	検査個数	不合格個数	検査個数	不合格個数	検査個数	不合格個数
手動はかり	134	1	65	0	79	0	15	0	293	1
指示はかり	821	4	285	3	18	2	85	1	1,209	10
電気式はかり	732	21	1,108	30	154	5	222	1	2,216	57
分銅・おもり	679	0	270	0	90	0	101	0	1,140	0
計	2,366	26	1,728	33	341	7	423	2	4,858	68

令和4年度はかり定期検査(集合検査)予定表

委託元	区 域	期 間	日 数
群 馬 県	安中市	4月14日(木)～4月20日(水)	5日間
	邑楽郡	5月10日(火)～5月17日(火)	6日間
	館林市	5月20日(金)～6月3日(金)	7日間
	吾妻郡	6月7日(火)～6月23日(木)	10日間
	みどり市	9月1日(木)～9月5日(月)	3日間
	桐生市	9月6日(火)～9月30日(金)	11日間
	北群馬郡	10月4日(火)～10月7日(金)	2.5日間
	渋川市	10月7日(金)～10月28日(金)	9.5日間
小 計	5市3郡		54日間
特 定 市	伊勢崎市	6月27日(月)～7月4日(月)	6日間
	太田市	7月19日(火)～7月26日(火)	6日間
	前橋市	10月12日(火)～11月8日(火)	9日間
		2月～3月	12日間
小 計	3市		33日間
合 計	8市3郡		87日間



定期検査済証印

今年度、検査に合格すると貼られるシールです。

※ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。
今後、市町村との協議により変更が生じる場合があります。

創立100周年事業費決算書

(自 令和3年4月1日～至 令和4年3月31日)

当協会は、群馬県計量協会創立から50周年、その前身である日本度量衡協会群馬県支部創立から100周年という大きな節目を迎え、去る令和3年11月12日群馬会館において、記念式典を盛大に開催するとともに、記念誌を発刊することができました。その収支決算報告をいたします。

1 収入の部

(単位:円)

周年事業費	2,000,000	令和3年度事業費予算額
記念誌広告収入	360,000	会員企業等20社
お祝い金	20,000	一般社団法人日本計量振興協会
計	2,380,000	

2 支出の部



- (1) 式典会場費 300,158円
- ・会場使用料
 - ・貸植木 (黒松)
 - ・看板代
 - ・写真撮影代
 - ・招待状等印刷代
 - ・式典リーフレット印刷



- (2) 表彰式等関係費 599,561円
- ・表彰状印刷代
 - ・受賞者記念品代 (非接触型体温計)
 - ・100周年記念品代 (体温計)



- (3) 記念講演会費 57,673円
- ・JAXA講師費用 (無料)
 - ・リモートネットワーク利用料
 - ・講演会チラシ印刷代

- (4) 記念誌関係費 1,304,000円
- ・印刷代 @2,000円×500冊
 - ・記念誌送付代

- (5) 委員会等労務費 94,604円

- (6) その他経費 98,800円

支出計 2,454,796円
 収支差額 ▲ 74,796円



お知らせ

計量関係最新情報



「提供：産業技術総合研究所」

◆ 日本国キログラム原器が重要文化財に

令和4年3月22日、国立研究開発法人産業技術総合研究所が所有するキログラム原器及び関連する原器類が、国の重要文化財「メートル条約並度量衡法関連原器」に追加指定されました。

1891年（明治24年）から2019年（令和元年）までの、明治、大正、昭和、平成、令和の五つの時代にわたる約130年間、質量の基準としての役割を担い、日本の近代化及び産業発展に大きく貢献しました。

現在は、国際キログラム原器に替わり、物理定数の「プランク定数」がキログラムの定義の基準となっています。 [出所：群馬県計量検定所]

令和4年度の種類表彰



日本計量証明事業協会
連合会会長表彰

計量証明部会長
久松 一夫 氏

群馬県計量検定所新体制

所長	長谷川 裕之 (転入)
次長	五十畑 徹
＜計量検定係＞	
係長	楯 欣史
主幹	石坂 裕介
副主幹	吉澤 美枝子
主任	田中 賢一
主任	鈴木 崇之
主事	滝澤 賢人 (転入)
主幹専門員	大澤 利英

群馬県計量協会事務局新体制

専務理事	鈴木 博久
検査係長	金井 喜久雄 (計量士)
主任	寺崎 順 (計量士)
主任	荻野 容子
主事	石坂 健太郎
主事	吉澤 優人 (新規採用)
書記	桑原 由紀江

【計量よもやま話】－長さの定義－

長さの単位である「メートル」は、当初地球の北極から赤道までの子午線の長さの1000万分の1と定められ、これを基にメートル原器が作られました。ところが、基準となるメートル原器は、「物」であるため、破損等の物理的損傷が避けられないことから、現在においては、1秒の2億9979万2458分の1の時間に光が真空中を伝わる工程の長さを1mと定義されています。

それは、つまり光の速さを2億9979万2458m/sと定義していることから来ています。

「トコトンやさしい計量の本より引用」

★会費のお願い：令和4年度会費の納入について、ご協力をお願いします。

編集後記

当協会は、お陰様で、昨年創立100周年記念式典を開催するとともに、当協会100年のあゆみを冊子に取りまとめ、大きな節目を無事終えたところです。今後は、創立150年に向け、引き続き計量制度を支えるべく計量行政の一翼を担ってまいりたい所存であります。

一方、世界では、ロシアのウクライナ侵攻が起きて、原油や小麦などの穀物類ほかあらゆるものの価格が値上がりしており、早期の戦争終結を望むばかりです。また、コロナの収束も見通せない状況にもあり、現在の危機は人類の英知が試されているのかもしれない。

会報の編集等について、ご意見やご要望がありましたらお寄せください。

H・S